

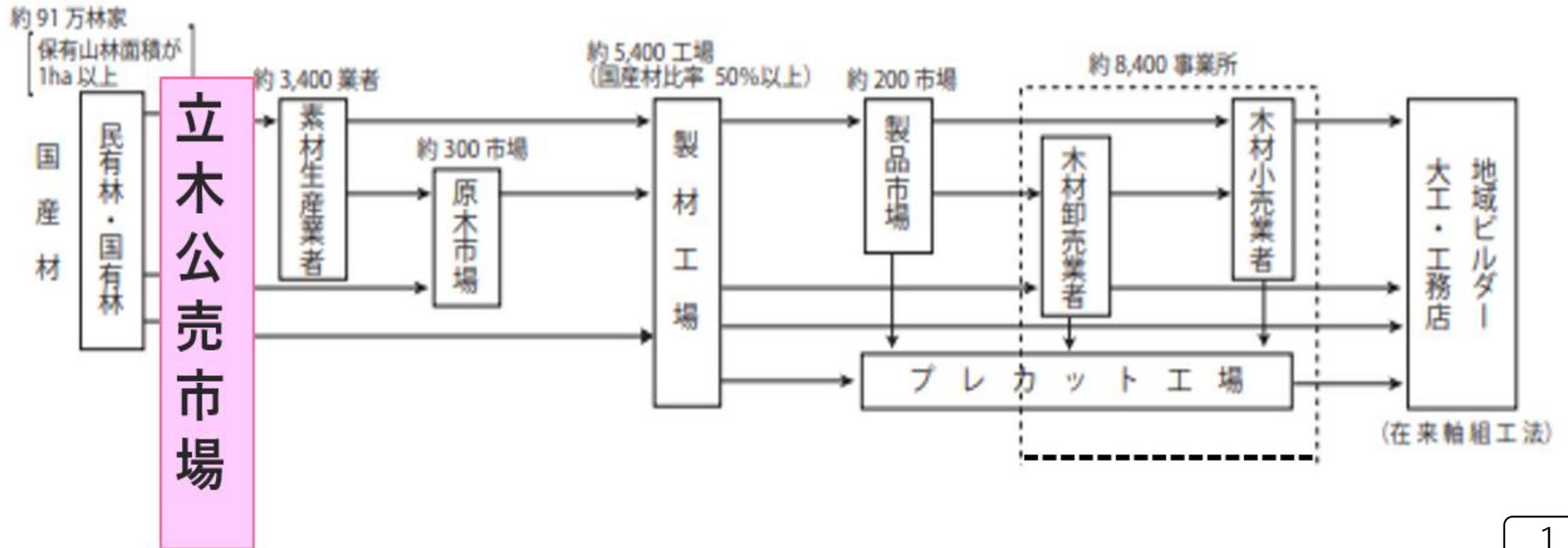
復活のチャンスを迎える日本林業 ～カギは国民理解の下での適正な立木価格の形成～

令和7年2月19日(水)

(一社) 国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会
事務局長 肥後賢輔

我々の提案 = 再造林を進めるための立木市場の構築 オープンな立木取引の場をインターネット上に設定

立木公売市場導入の提案



○ 立木市場による新しい木材取引のイメージ

森林所有者

【出品の条件】

再造林その後の保育等の経営
を持続する意思の表明
境界の明確化及び隣地所有者
の了解取付け
持続的経営を担保できる予定
価格の提示

※市町村、森林組合による森林
所有者への働き掛けが不可欠

立木市場

立木価格決定の
透明化

買受者

造材・製材・加工関係事
業者
原木市場
木材流通業者・商社
工務店
ゼネコン
etc.

※持続可能な木材の利用で森林所
有者を支援し、社会的貢献と環
境保全の責務を果たす



立木取引システム

林業機械化協会HPリンク <https://www.rinkikyo.or.jp/ryuboku/>

[HOME](#) [立木取引システムについて](#) [物件情報](#) [出品申込](#) [買受申込](#) [運営機関](#) [お問い合わせ](#) [ログイン](#)



立木取引システム

[HOME](#) [立木取引システムについて](#) [物件情報](#) [出品申込](#) [買受申込](#) [運営機関](#) [お問い合わせ](#) [ログイン \(準備中\)](#)

立木取引システムとは？

持続的な森林経営に向けて
オープンな立木価格形成を
目指す取り組みです。

物件情報

.....

番号	場所	樹種	林齢	面積	材積	最低価格	締切日
4	高知県吾川郡仁淀川町	スギ	55年生	2.14ha	1,333m ³	1,265万円	2025/1/31
5	福島県石川郡古殿町	スギ	74年生	1.77ha	939m ³	13,417,400万円	2025/1/15

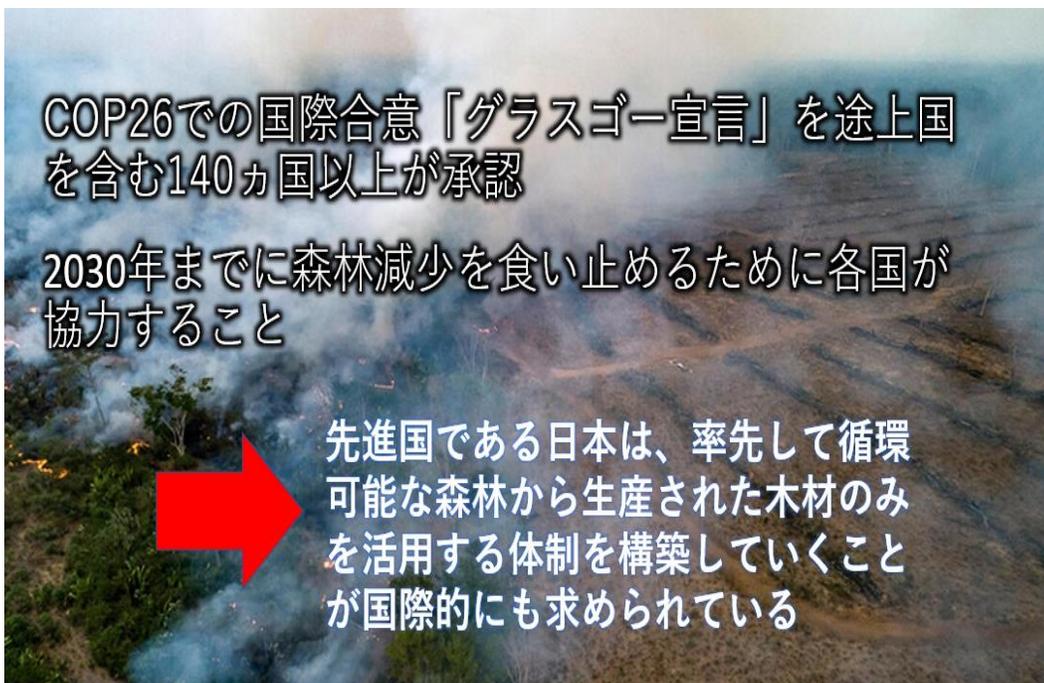
[物件情報一覧はこちら](#)

持続可能な木材の活用へ向かう国際的な流れ

国際的な環境は、持続性の担保された木材の活用に大きく動き出している。

先進国である日本においては、世界に先駆けて持続性が担保されない木材は使わないという社会に向かう可能性は高い。

G-7広島サミット首脳会合



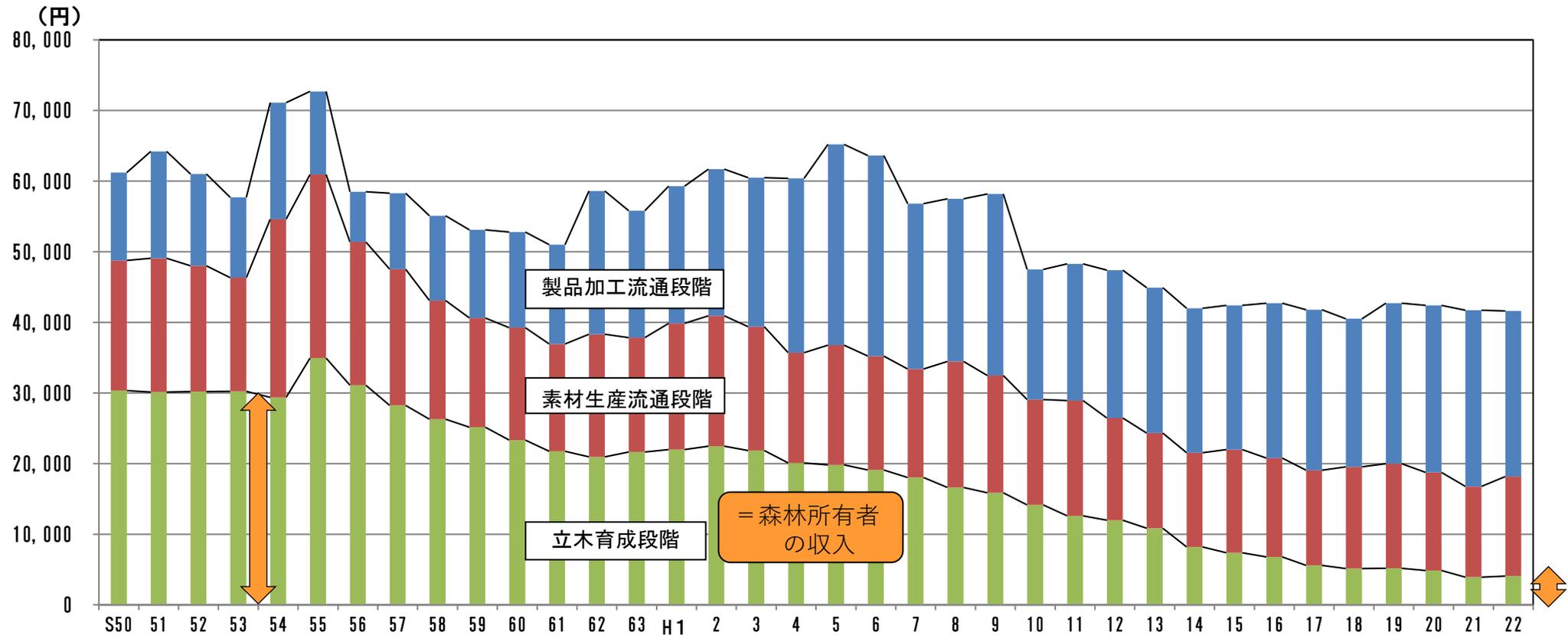
「建築物への木材利用に係る評価ガイドンス」(2024年3月 林野庁)

■ 本ガイドンスにおける建築物への木材利用に係る評価の全体像

評価分野	評価項目 (建築事業者等が行う取組)	評価方法
1. カーボンニュートラルへの貢献	① 建築物のエンボディドカーボンの削減	✓ LCAにより算定した、建築物に利用した木材の製品製造に係るGHG排出量を示す。
	② 建築物への炭素の貯蔵	✓ 林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」により炭素貯蔵量を示す。
2. 持続可能な資源の利用	① 持続可能な木材の調達 (デュー・デリジェンスの実施)	✓ 利用する木材について、以下を確認していることを示す。また、i)についてはその量や割合を示す。 i) ①合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律 (クリーンウッド法) に基づき合法性が確認でき、かつその木材が産出された森林の伐採後の更新の担保を確認できるものであること、又は②認証材 (森林認証制度により評価・認証された木材) であることのいずれかであること。 ii) サプライチェーンにおいて「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」を踏まえた人権尊重の取組が実施されていること。
	② 森林資源の活用による地域貢献	✓ 地域産材 (又は国産材) の利用の有無、利用量や利用割合を示す。 ✓ 地域産材の活用を目的として、地域の林業・木材産業者と建築物木材利用促進協定等を締結していることを示す。 ✓ 産業連関表を用いて、木材利用による地域経済への波及効果を定量的に示す。
	③ サーキュラーエコノミーへの貢献	✓ サーキュラーエコノミーの観点から、木材は再生可能資源として評価されるものであることを示す。 ✓ 建築物において循環性 (サーキュラリティ) を意識した、例えば以下のような取組を実施していることについて具体的な内容を、可能な場合は定量的に示す。 i) 木材利用により非生物由来の (再生不可能な) バージン素材の利用を削減している。 ii) 再利用木材 (木質ボード等) を活用している。 iii) 解体時の環境負荷を低減する設計を採用している。
3. 快適空間の実現	内装木質化による心身面、生産性等の効果	✓ 建築物の用途等に応じて、訴求度が高い内装木質化の効果を示す。

これまでの製品価格と立木価格の動き

- 我が国の木材価格は、製品段階は昭和50年頃から約3割下落しているのに対し**立木段階では1/10に下落**。



出典：(財)日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書(平成7年9月)」(昭和50年～平成5年)、「木材需給報告書」(平成6年～20年)、「木材価格」(平成21年～22年)
 注) 素材から製材品へは歩留まりを65%として計算。

立木市場により想定される新しい流通等の変化

【一般的な木材流通】

